計画平面図

S=1:2000

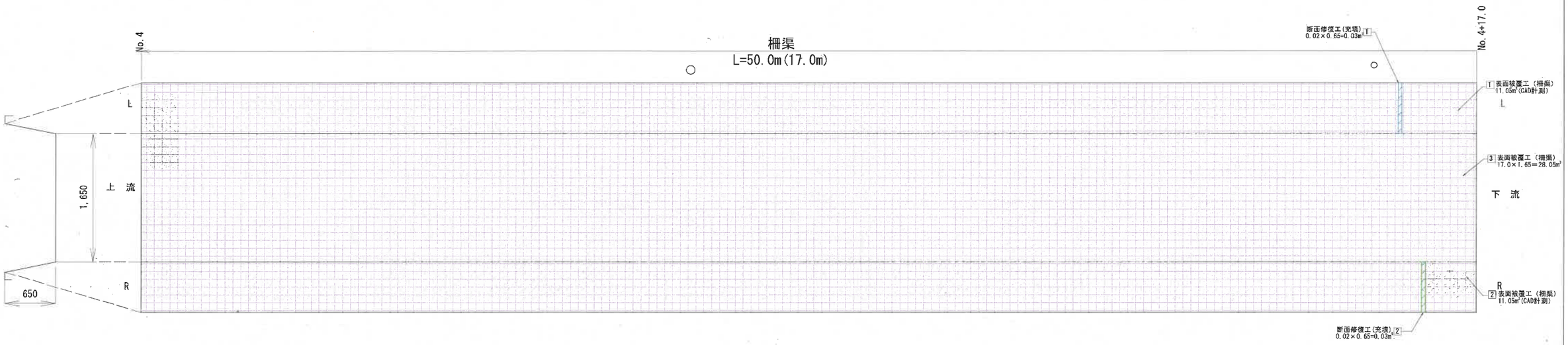
図面番号	第 1 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 計画平面図
縮尺	1：2000
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日

米子市経済部農林水産振興局農林課

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.4～No.5	縮尺	図示

補修図（1）（No.4～No.5）（1/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
組骨材剥落		表面被覆工
組骨材露出		表面被覆工
組骨材露出		表面被覆工
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ110)	左岸	No.4+7.0	
②	塩ビ管(φ75)	左岸	No.4+15.7	
③	塩ビ管(φ130)	左岸	No.4+20.8	
④	塩ビ管(φ50)	左岸	No.4+38.8	
⑤	ヒューム管(φ150)	左岸	No.4+42.7	
⑥	洗い場	左岸	No.4+48.8	
⑦	ヒューム管(φ150)	右岸	No.4+39.8	
⑧	塩ビ管(φ50)	右岸	No.4+41.4	
⑨	塩ビ管(φ150)	右岸	No.4+48.2	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.02
2	0.06
3	0.06
4	0.08
5	0.12
合計	0.34

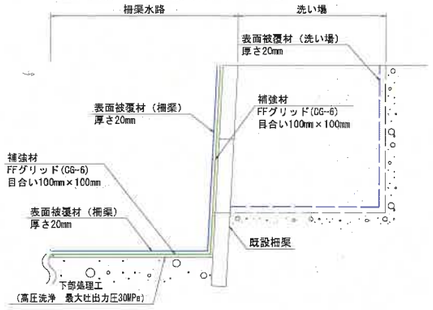
断面修復工（充填）

番号	面積	体積
1	0.03	0.004
2	0.03	0.004
合計	0.06	0.008

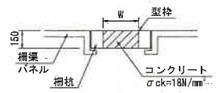
表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（側壁）
1		11.05
2		11.05
3		28.05
4	-	11.04
5		11.05
6		28.05
7		9.89
8		10.36
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	147.0

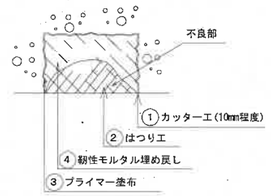
表面被覆工_柵渠区間（参考図）



断面修復工_充填（参考図）



断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

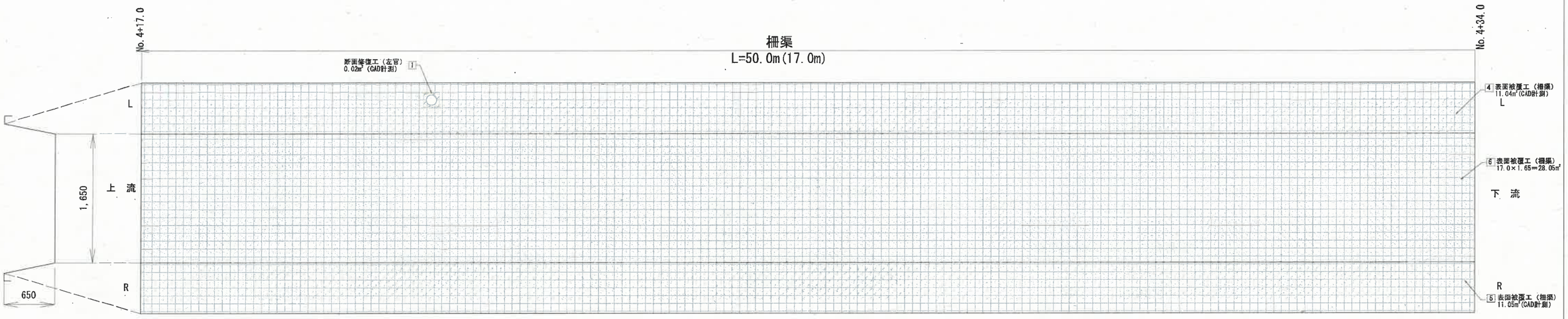
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 2 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その２） 補修図（1） (No.4～No.5)（1/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.4～No.5	縮尺	図示

補修図（1）（No.4～No.5）（2/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
組骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填・修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ110)	左岸	No.4+7.0	
②	塩ビ管(φ75)	左岸	No.4+15.7	
③	塩ビ管(φ130)	左岸	No.4+20.8	
④	塩ビ管(φ50)	左岸	No.4+38.8	
⑤	ヒューム管(φ150)	左岸	No.4+42.7	
⑥	洗い場	左岸	No.4+48.8	
⑦	ヒューム管(φ150)	右岸	No.4+39.8	
⑧	塩ビ管(φ50)	右岸	No.4+41.4	
⑨	塩ビ管(φ150)	右岸	No.4+48.2	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.04
2	0.04
3	0.06
4	0.10
5	0.12
合計	0.36

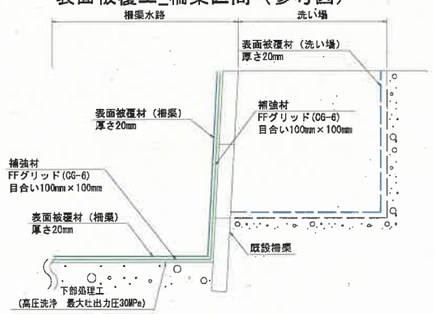
断面修復工（充填）

番号	面積	体積
1	0.03	0.004
2	0.03	0.004
合計	0.06	0.008

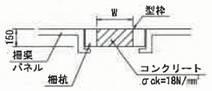
表面被覆工（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（側壁）
1		11.05
2		11.05
3		28.05
4		11.04
5		11.05
6		28.05
7		9.89
8		10.36
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	147.0

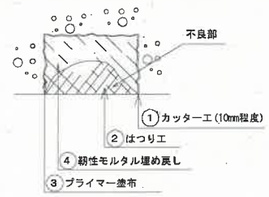
表面被覆工_柵渠区間（参考図）



断面修復工_充填（参考図）



断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

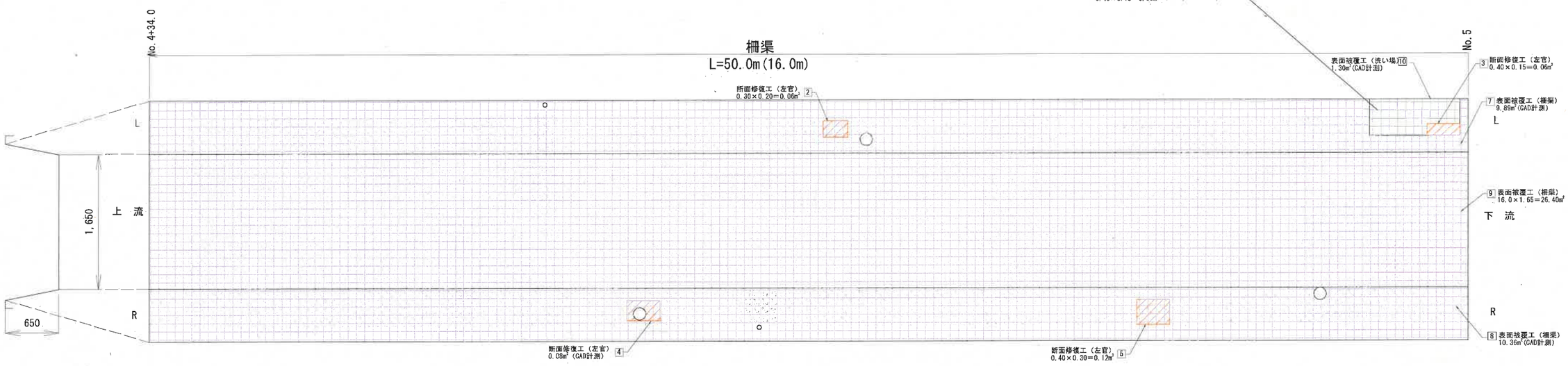
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

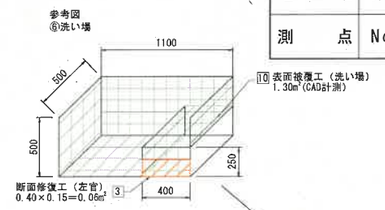
図面番号	第 3 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（1） (No.4～No.5)（2/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.4～No.5	縮尺	図示

補修図（1）（No.4～No.5）（3/3）

S=1:50





凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
細骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
強りコンクリート		強りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ110)	左岸	No.4+7.0	
②	塩ビ管(φ75)	左岸	No.4+15.7	
③	塩ビ管(φ130)	左岸	No.4+20.8	
④	塩ビ管(φ50)	左岸	No.4+38.8	
⑤	ヒューム管(φ150)	左岸	No.4+42.7	
⑥	洗い場	左岸	No.4+48.8	
⑦	ヒューム管(φ150)	右岸	No.4+39.8	
⑧	塩ビ管(φ50)	右岸	No.4+41.4	
⑨	塩ビ管(φ150)	右岸	No.4+48.2	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.04
2	0.04
3	0.06
4	0.10
5	0.12
合計	0.36

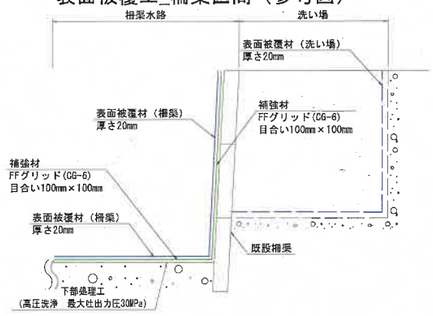
断面修復工（充填）

番号	面積	体積
1	0.03	0.004
2	0.03	0.004
合計	0.06	0.008

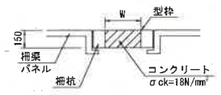
表面被覆工 （単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（側壁）
1		11.05
2		11.05
3		28.05
4		11.04
5		11.05
6		28.05
7		9.89
8		10.36
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	147.0

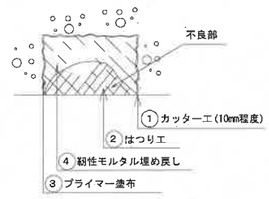
表面被覆工_柵渠区間（参考図）



断面修復工_充填（参考図）



断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

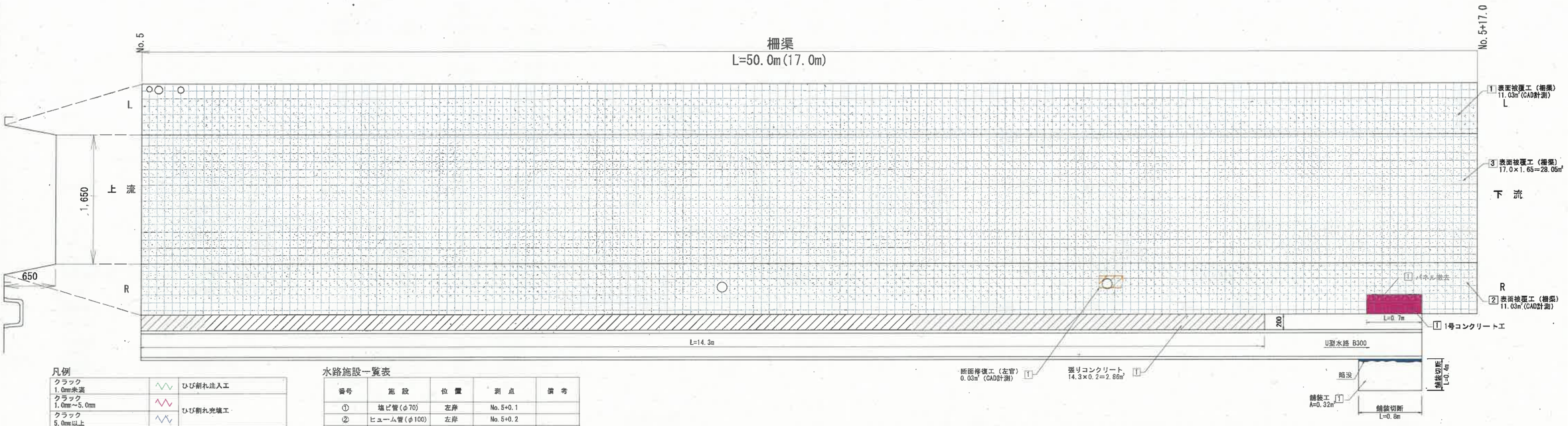
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 4 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（1） (No.4～No.5)（3/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.5～No.6	縮尺	図示

補修図（2）（No.5～No.6）（1/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
細骨材露出	
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工	表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
	表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
	表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
	表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ70)	左岸	No.5+0.1	
②	ヒューム管(φ100)	左岸	No.5+0.2	
③	塩ビ管(φ80)	左岸	No.5+0.4	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+7.4	
⑤	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+12.2	
⑥	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+17.7	
⑦	床版	左岸	No.5+19.1～22.2	
⑧	床版	右岸	No.5+19.2～23.2	
⑨	床版	左右岸	No.5+26.0～33.0	
⑩	ヒューム管(φ150)	右岸	No.5+28.6	
⑪	塩ビ管(φ70)	右岸	No.5+31.6	
⑫	床版	右岸	No.5+36.3～40.4	
⑬	床版	左岸	No.5+37.3～40.4	
⑭	洗い場	右岸	No.5+41.3～42.4	
⑮	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+42.9	
⑯	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+47.3	
⑰	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+49.8	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.03
2	0.01
3	0.06
4	0.06
5	0.05
6	0.03
7	0.03
合計	0.27

張りコンクリート

番号	数量(m2)
1	2.86
合計	2.86

パネル撤去

番号	数量(枚)
1	1
合計	1

表面被覆工 （単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		11.03
2		11.03
3		28.05
4		11.05
5		11.02
6		28.05
7		10.40
8		9.81
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	146.8

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.32
合計	0.32

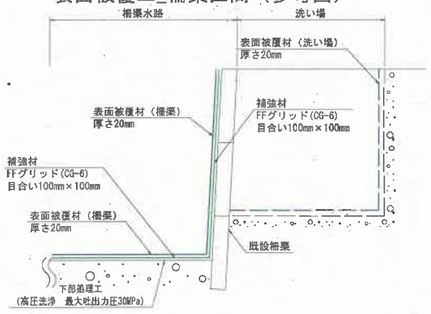
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.80	0.10
合計	0.13	0.80	0.10

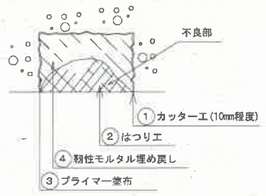
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.05	0.80	0.04
合計	0.05	0.80	0.04

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

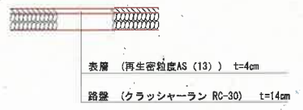


断面修復工_左官（参考図）

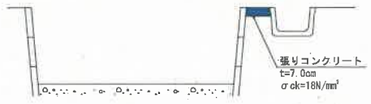


※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

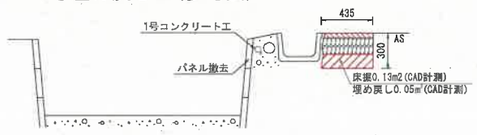
舗装工



張りコンクリート（数量参考図）



1号埋め戻し工（参考図）



施工上の注意点
・本図面は簡易計測範囲を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

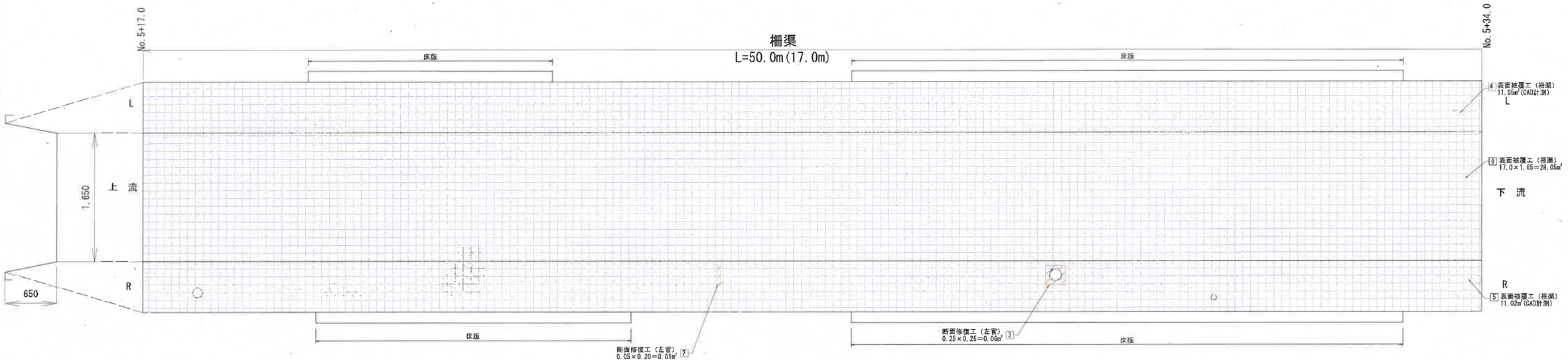
図面番号	第 5 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（2） (No.5～No.6)（1/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日

米子市経済部農林水産振興局農林課

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.5～No.6	縮尺	図示

補修図（2）（No.5～No.6）（2/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填:修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場:被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ70)	左岸	No.5+0.1	
②	ヒューム管(φ100)	左岸	No.5+0.2	
③	塩ビ管(φ80)	左岸	No.5+0.4	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+7.4	
⑤	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+12.2	
⑥	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+17.7	
⑦	床版	左岸	No.5+19.1～22.2	
⑧	床版	右岸	No.5+19.2～23.2	
⑨	床版	左右岸	No.5+26.0～33.0	
⑩	ヒューム管(φ150)	右岸	No.5+28.6	
⑪	塩ビ管(φ70)	右岸	No.5+31.6	
⑫	床版	右岸	No.5+36.3～40.4	
⑬	床版	左岸	No.5+37.3～40.4	
⑭	洗い場	右岸	No.5+41.3～42.4	
⑮	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+42.9	
⑯	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+47.3	
⑰	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+49.8	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.03
2	0.01
3	0.06
4	0.06
5	0.05
6	0.03
7	0.03
合計	0.27

表面被覆工 （単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		11.03
2		11.03
3		28.05
4		11.05
5		11.02
6		28.05
7		10.40
8		9.81
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	146.8

張りコンクリート

番号	数量(m2)
1	2.86
合計	2.86

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.32
合計	0.32

パネル撤去

番号	数量(枚)
1	1
合計	1

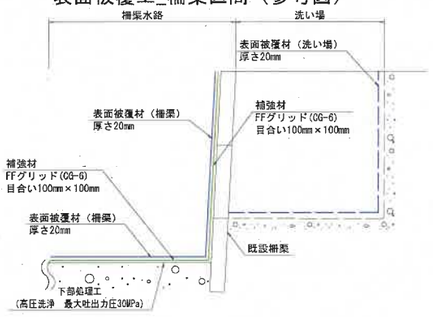
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.80	0.10
合計	0.13	0.80	0.10

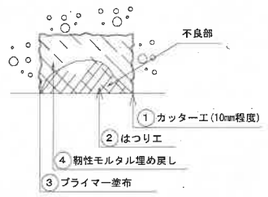
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.05	0.80	0.04
合計	0.05	0.80	0.04

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

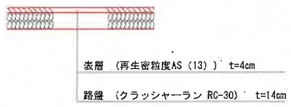


断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

舗装工



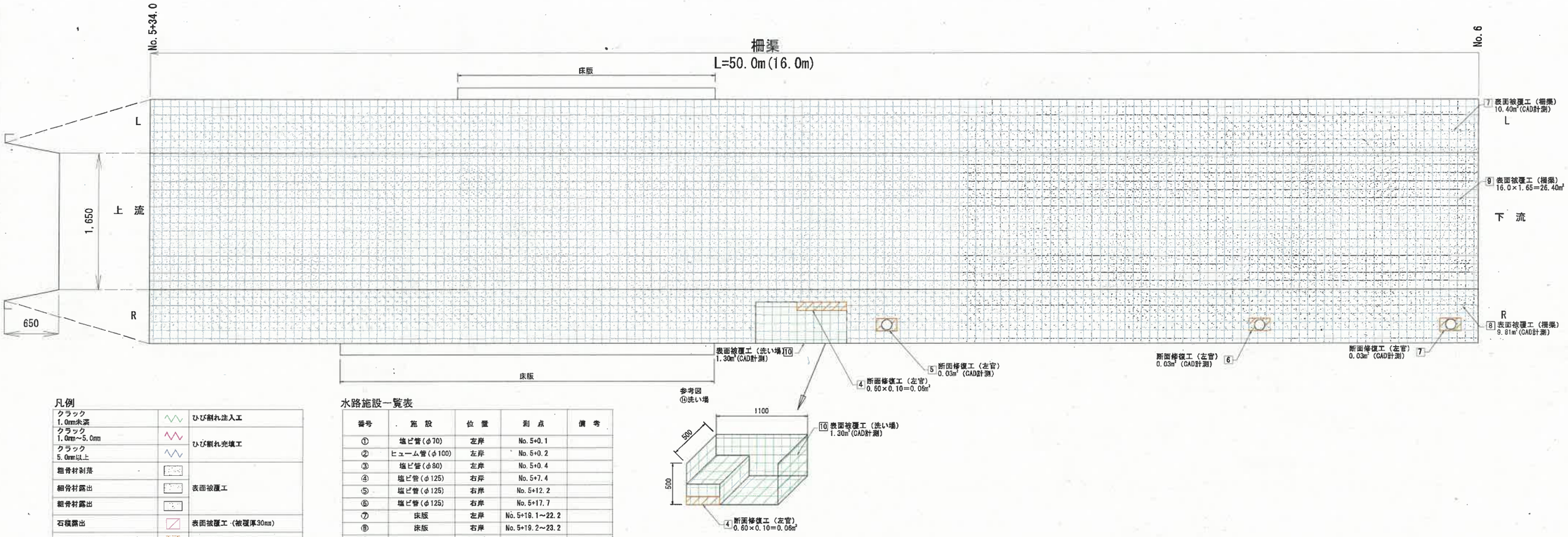
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 6 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（2） (No.5～No.6)（2/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.5～No.6	縮尺	図示

補修図（2）（No.5～No.6）（3/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
組骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ70)	左岸	No.5+0.1	
②	ヒューム管(φ100)	左岸	No.5+0.2	
③	塩ビ管(φ80)	左岸	No.5+0.4	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+7.4	
⑤	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+12.2	
⑥	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+17.7	
⑦	床版	左岸	No.5+19.1～22.2	
⑧	床版	右岸	No.5+19.2～23.2	
⑨	床版	左右岸	No.5+26.0～33.0	
⑩	ヒューム管(φ150)	右岸	No.5+28.6	
⑪	塩ビ管(φ70)	右岸	No.5+31.6	
⑫	床版	右岸	No.5+36.3～40.4	
⑬	床版	左岸	No.5+37.3～40.4	
⑭	洗い場	右岸	No.5+41.3～42.4	
⑮	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+42.9	
⑯	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+47.3	
⑰	塩ビ管(φ125)	右岸	No.5+49.8	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.03
2	0.01
3	0.06
4	0.06
5	0.05
6	0.03
7	0.03
合計	0.27

表面被覆工 （単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		11.03
2		11.03
3		28.05
4		11.05
5		11.02
6		28.05
7		10.40
8		9.81
9		26.40
10	1.30	
合計	1.30	146.8

張りコンクリート

番号	数量(m2)
1	2.86
合計	2.86

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.32
合計	0.32

パネル撤去

番号	数量(枚)
1	1
合計	1

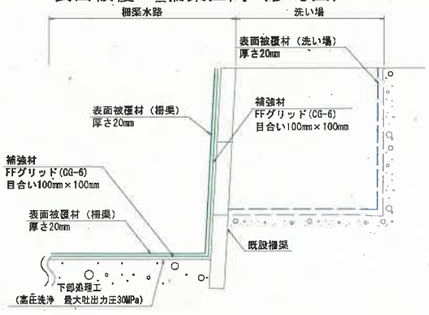
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.80	0.10
合計	0.13	0.80	0.10

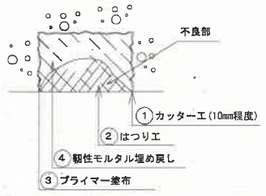
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.05	0.80	0.04
合計	0.05	0.80	0.04

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

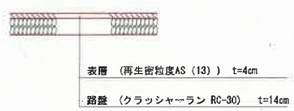


断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

舗装工



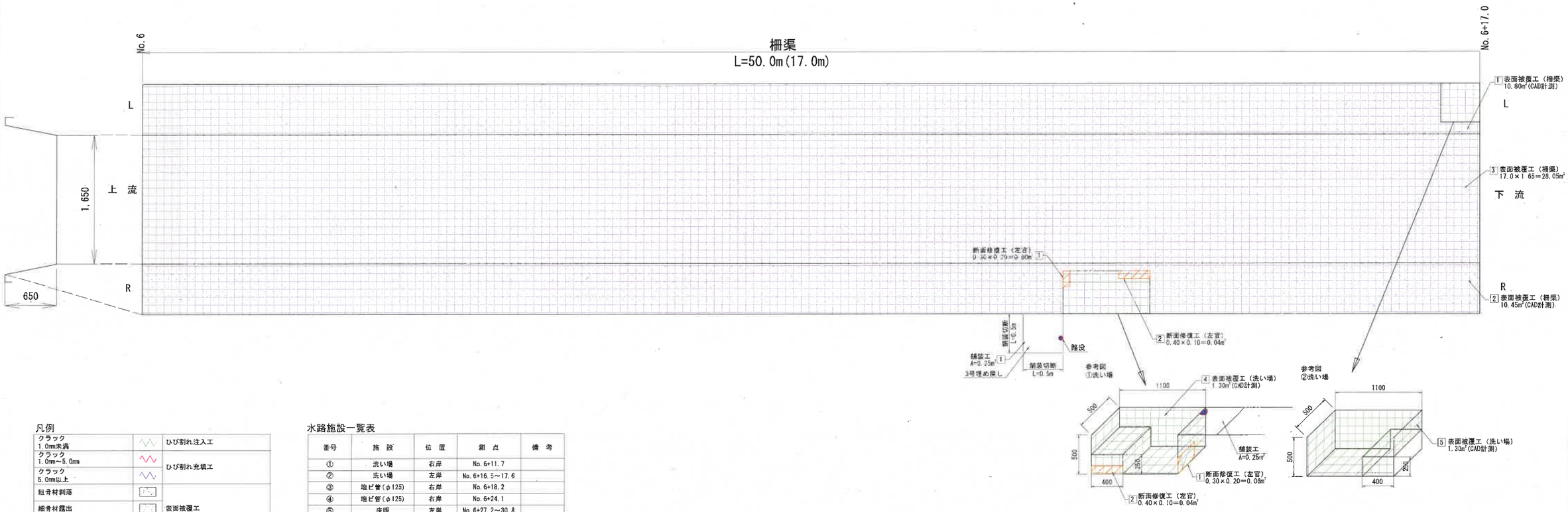
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 7 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（2） （No.5～No.6）（3/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.6～No.7	縮尺	図示

補修図（3）（No.6～No.7）（1/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
鉄骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填:修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場:被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	右岸	No.6+11.7	
②	洗い場	左岸	No.6+16.5～17.6	
③	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+18.2	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+24.1	
⑤	床版	左岸	No.6+27.2～30.8	
⑥	床版	右岸	No.6+27.4～29.8	
⑦	水道管(φ25)	左岸	No.6+29.8	
⑧	水道管(φ25)	右岸	No.6+30.9	
⑨	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+40.8	
⑩	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+47.1	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.06
2	0.04
3	0.04
合計	0.14

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.25
2	0.33
合計	0.58

表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		10.80
2		10.45
3		28.05
4	1.30	
5	1.30	
6		10.75
7		11.02
8		28.05
9		10.40
10		10.40
11		26.40
合計	2.60	146.3

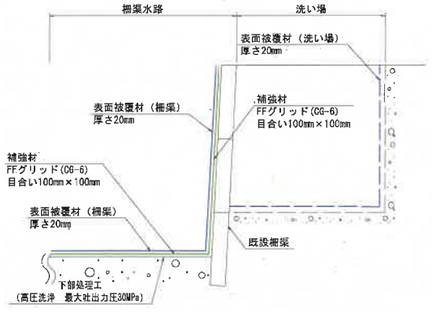
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.04	0.50	0.02
2	0.04	1.1	0.04
合計	0.08	1.60	0.06

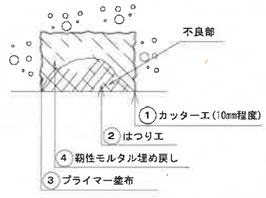
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.50	0.07
2	0.10	1.1	0.11
合計	0.23	1.60	0.18

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

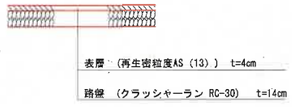


断面修復工_左官（参考図）

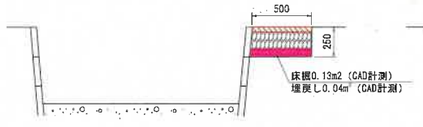


※はつりエの深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

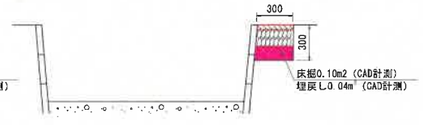
舗装工



3号埋め戻し工(参考図)



4号埋め戻し工(参考図)



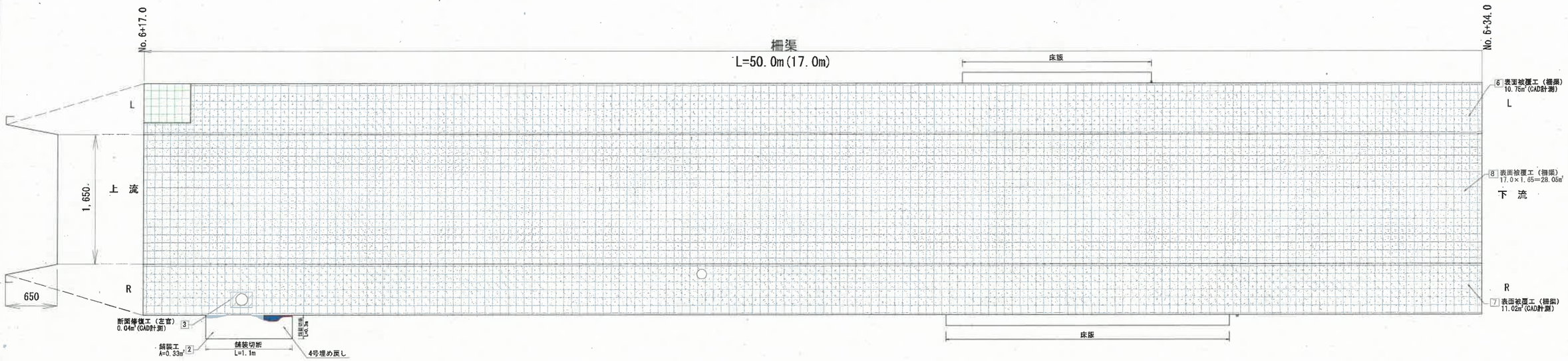
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 8 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（3） (No.6～No.7)（1/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.6～No.7	縮尺	図示

補修図（3）（No.6～No.7）（2/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
細骨材露出	
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工（充填:修復深さ50mm）
表面被覆工	表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
	表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
	表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
	表面被覆工（洗い場:被覆厚20mm）
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	右岸	No.6+11.7	
②	洗い場	左岸	No.6+16.5～17.6	
③	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+18.2	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+24.1	
⑤	床版	左岸	No.6+27.2～30.8	
⑥	床版	右岸	No.6+27.4～29.8	
⑦	水道管(φ25)	左岸	No.6+29.8	
⑧	水道管(φ25)	右岸	No.6+30.9	
⑨	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+40.8	
⑩	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+47.1	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.06
2	0.04
3	0.04
合計	0.14

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.25
2	0.33
合計	0.58

表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		10.80
2		10.45
3		28.05
4	1.30	
5	1.30	
6		10.75
7		11.02
8		28.05
9		10.40
10		10.40
11		26.40
合計	2.60	146.3

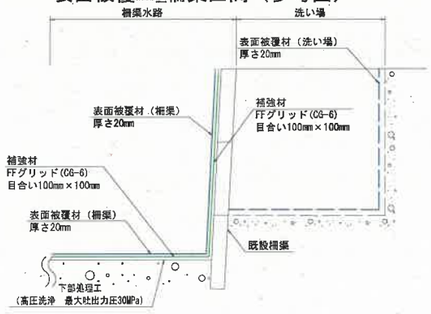
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.50	0.07
2	0.08	1.1	0.09
合計	0.21	1.60	0.16

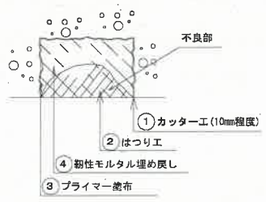
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.50	0.07
2	0.08	1.1	0.09
合計	0.21	1.60	0.16

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

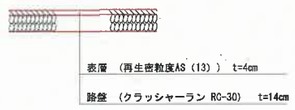


断面修復工_左官（参考図）

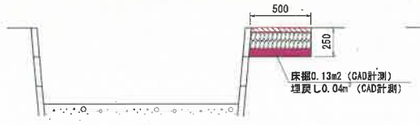


※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

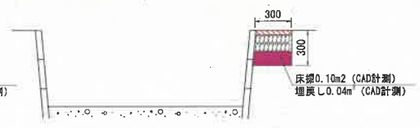
舗装工



3号埋め戻し工(参考図)



4号埋め戻し工(参考図)



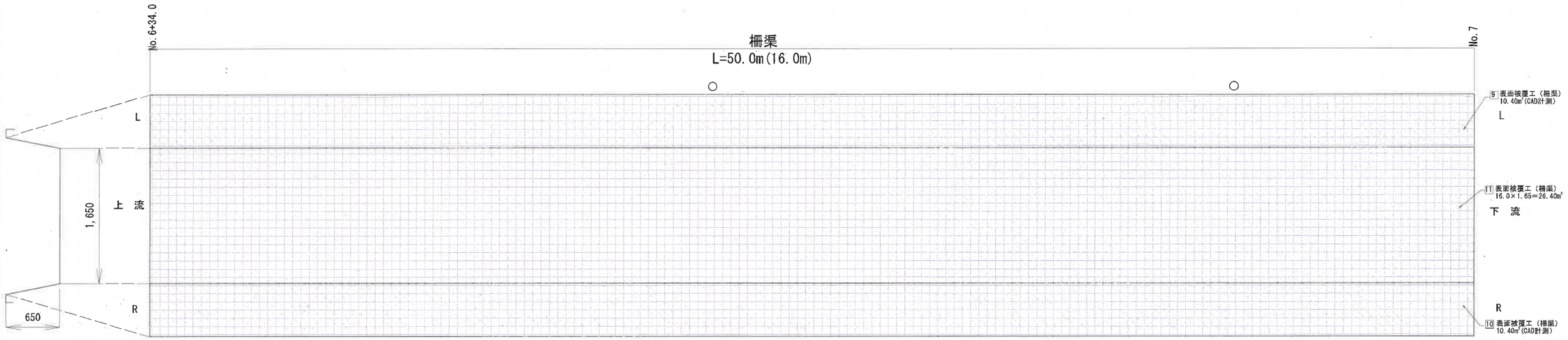
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 9 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（3） （No.6～No.7）（2/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.6～No.7	縮尺	図示

補修図（3）（No.6～No.7）（3/3）

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工（充填:修復深さ50mm）
表面被覆工		表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
		表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
		表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
		表面被覆工（洗い場:被覆厚20mm）
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	右岸	No.6+11.7	
②	洗い場	左岸	No.6+16.5～17.6	
③	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+18.2	
④	塩ビ管(φ125)	右岸	No.6+24.1	
⑤	床版	左岸	No.6+27.2～30.8	
⑥	床版	右岸	No.6+27.4～29.8	
⑦	水道管(φ25)	左岸	No.6+29.8	
⑧	水道管(φ25)	右岸	No.6+30.9	
⑨	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+40.8	
⑩	塩ビ管(φ100)	左岸	No.6+47.1	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.06
2	0.04
3	0.04
合計	0.14

舗装工

番号	数量(m2)
1	0.25
2	0.33
合計	0.58

表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		10.80
2		10.45
3		28.05
4	1.30	
5	1.30	
6		10.75
7		11.02
8		28.05
9		10.40
10		10.40
11		26.40
合計	2.60	146.3

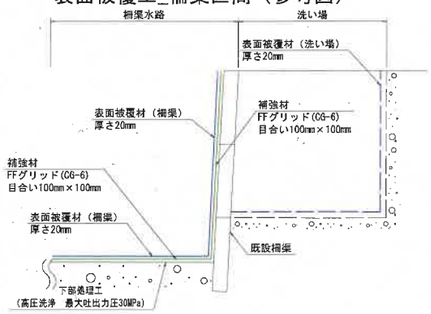
埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.50	0.07
2	0.08	1.1	0.09
合計	0.21	1.60	0.16

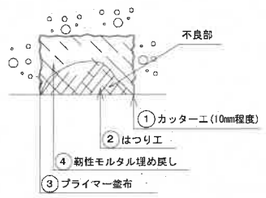
床掘

番号	面積	延長	体積
1	0.13	0.50	0.07
2	0.08	1.1	0.09
合計	0.21	1.60	0.16

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

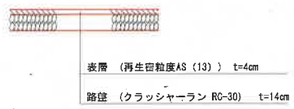


断面修復工_左官（参考図）

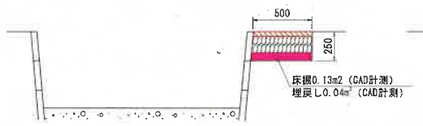


※はつりエの深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

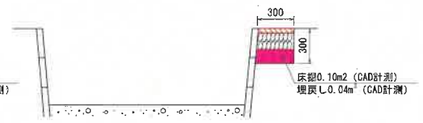
舗装工



3号埋め戻し工(参考図)



4号埋め戻し工(参考図)



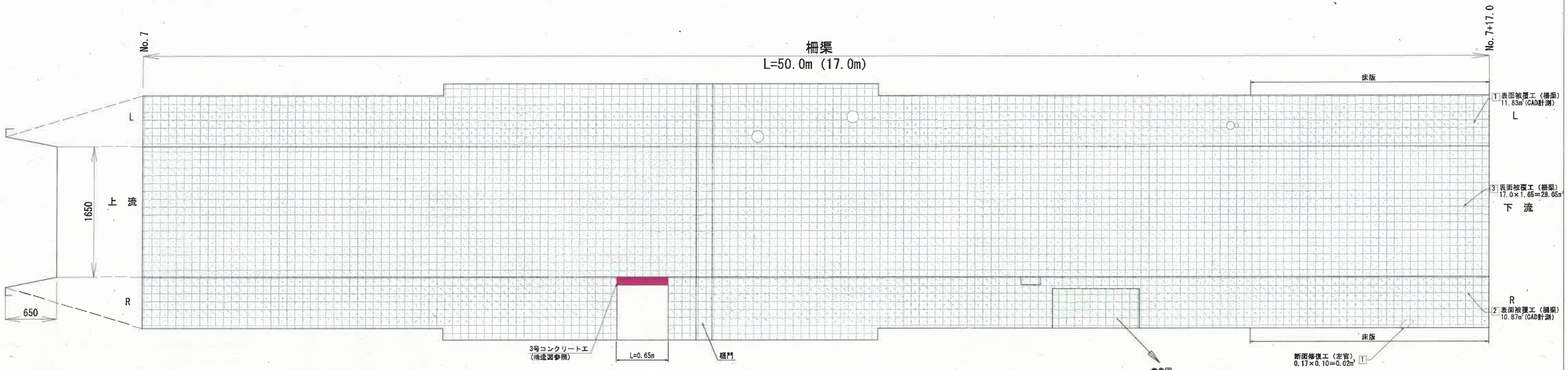
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

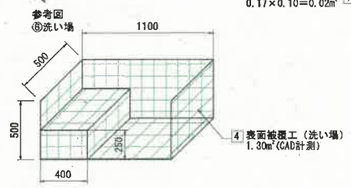
図面番号	第 10 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（3） （No.6～No.7）（3/3）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.7～No.8	縮尺	図示

補修図（4）（No.7～No.8）（1/2）

S=1:50





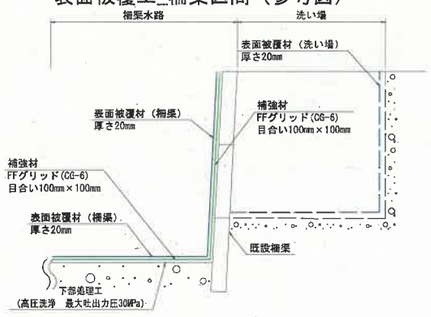
凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
細骨材露出	
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工	表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
	表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
	表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
	表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

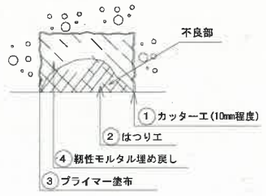
水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
?	水路（650×800）	右岸	No.7+6.0	
②	堰門	左右岸	No.7+7.0	
③	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+7.7	
④	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+8.9	
⑤	構造物	右岸	No.7+11.1	用途不明
⑥	洗い場	右岸	No.7+11.5	
⑦	塩ビ管（φ100,50）	左岸	No.7+13.7	
⑧	床板	左右岸	No.7+14.0～20.0	
⑨	塩ビ管（φ130）	右岸	No.7+19.0	
⑩	洗い場	左岸	No.7+23.6	
⑪	塩ビ管（φ100）	左岸	No.7+24.1	
⑫	洗い場	右岸	No.7+26.0	
⑬	角落し	右岸	No.7+28.6	
⑭	塩ビ管（φ130）	右岸	No.7+29.8	
⑮	塩ビ管（φ125）	右岸	No.7+38.4	
⑯	塩ビ管（φ100）	左岸	No.7+38.8	
⑰	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+39.8	
⑱	取水口	左岸	No.7+40.8～41.1	
⑲	角落し	左右岸	No.7+41.5	
⑳	塩ビ管（φ50）	右岸	No.7+42.6	

表面被覆工_柵渠区間（参考図）

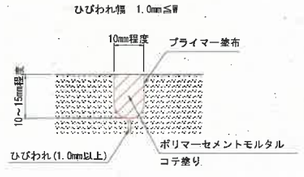


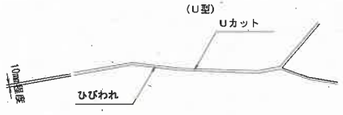
断面修復工_左官（参考図）



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

ひびわれ充填工（参考図）





断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.02
2	0.05
3	0.06
4	0.05
5	0.02
6	0.05
合計	0.25

表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		11.83
2		10.87
3		28.05
4	1.30	
5		8.36
6		8.32
7		23.37
8	1.30	
9	1.30	
合計	3.90	90.8

ひびわれ延長　（単位：m）

番号	1.0mm未満（注入工）	1.0mm～5.0mm（充填工）	5.0mm以上（充填工）
1		0.50（2.2mm）	
2		0.25（2.2mm）	
合計		0.75	

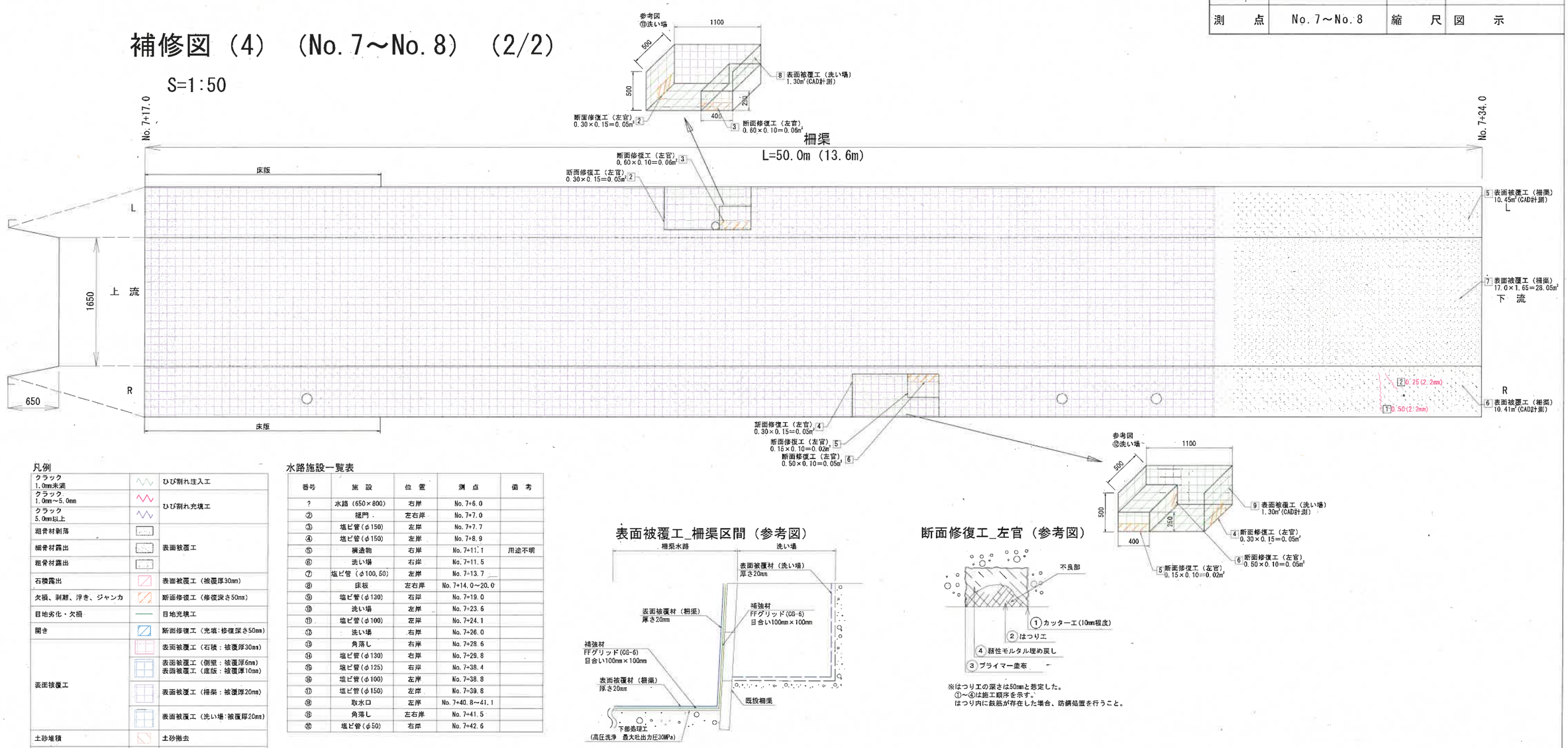
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 11 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（4） （No.7～No.8）（1/2）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.7～No.8	縮尺	図示

補修図（4）（No.7～No.8）（2/2）

S=1:50

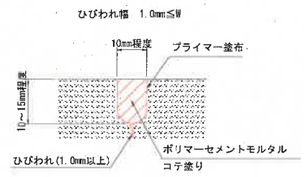


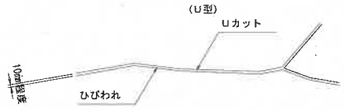
表面被覆工_柵渠区間（参考図）

断面修復工_左官（参考図）

※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

ひびわれ充填工(参考図)





凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
細骨材露出	
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工（被覆厚30mm）
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工（修復深さ50mm）
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工（充填：修復深さ50mm）
表面被覆工	表面被覆工（石積：被覆厚30mm）
	表面被覆工（側壁：被覆厚6mm） 表面被覆工（底版：被覆厚10mm）
	表面被覆工（柵渠：被覆厚20mm）
	表面被覆工（洗い場：被覆厚20mm）
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
?	水路（650×800）	右岸	No.7+6.0	
②	樋門	左右岸	No.7+7.0	
③	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+7.7	
④	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+8.9	
⑤	構造物	右岸	No.7+11.1	用途不明
⑥	洗い場	右岸	No.7+11.5	
⑦	塩ビ管（φ100.50）	左岸	No.7+13.7	
⑧	床板	左右岸	No.7+14.0～20.0	
⑨	塩ビ管（φ130）	右岸	No.7+19.0	
⑩	洗い場	左岸	No.7+23.6	
⑪	塩ビ管（φ100）	左岸	No.7+24.1	
⑫	洗い場	右岸	No.7+26.0	
⑬	角落し	右岸	No.7+28.6	
⑭	塩ビ管（φ130）	右岸	No.7+29.8	
⑮	塩ビ管（φ125）	右岸	No.7+38.4	
⑯	塩ビ管（φ100）	左岸	No.7+38.8	
⑰	塩ビ管（φ150）	左岸	No.7+39.8	
⑱	取水口	左岸	No.7+40.8～41.1	
⑲	角落し	左右岸	No.7+41.5	
⑳	塩ビ管（φ50）	右岸	No.7+42.6	

断面修復工（左官）

番号	数量(m2)
1	0.02
2	0.05
3	0.06
4	0.05
5	0.02
6	0.05
合計	0.25

表面被覆工　（単位：m2）

番号	t=20mm（洗い場）	t=20mm（柵渠）
1		11.83
2		10.87
3		28.05
4	1.30	
5		8.36
6		8.32
7		23.37
8	1.30	
9	1.30	
合計	3.90	90.8

ひびわれ延長　（単位：m）

番号	1.0mm未満（注入工）	1.0mm～5.0mm（充填工）	5.0mm以上（充填工）
1		0.50(2.2mm)	
2		0.25(2.2mm)	
合計		0.75	

施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

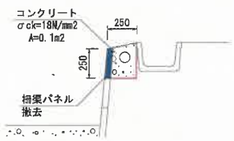
図面番号	第 12 号 13 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 補修図（4） (No.7～No.8)（2/2）
縮尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日

米子市経済部農林水産振興局農林課

構　造　図

1号コンクリート工　S=1:25

No. 5+15.7付近

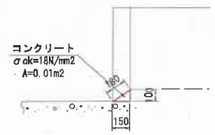


10m当たり

名　称	規　格	単位	計　算　式	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.100×10.000	1.000
型枠	小型構造物	m2	0.100×2+0.250×10.000	3.500

2号コンクリート工　S=1:25

No. 7+7～No. 7+7.65



10m当たり

名　称	規　格	単位	計　算　式	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.010×10.000	0.100
型枠	小型構造物	m2	0.018×10.000	0.180

図面番号	第　13　号　13　枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その2） 構造図
縮　尺	図示
製図年月日	令和　年　月　日
写図年月日	令和　年　月　日
米子市経済部農林水産振興局農林課	